



「ヘルスリテラシーを高め、意思決定支援をおこなうために

緩和ケア認定看護師 神田尚代

ヘルスリテラシーとは

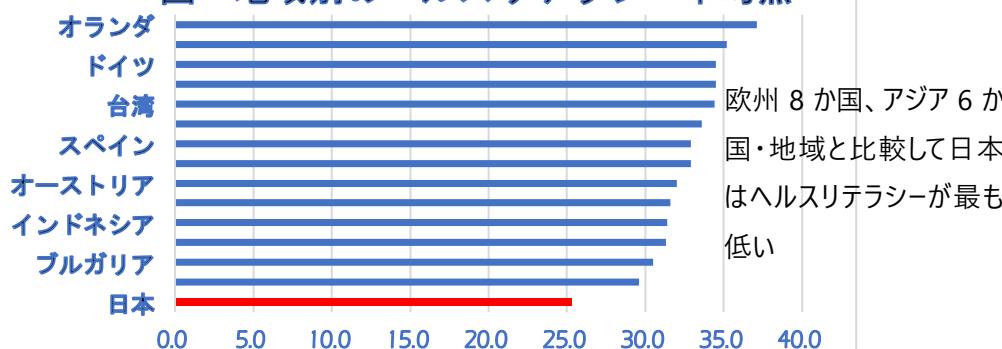
「健康や医療に関する正しい情報を入手し、理解して活用する能力」自分の身体について考え、沢山の健康情報の中から適切な情報を見極めて使いこなすこと。このヘルスリテラシーの低さが、健康状態やアドヒアランスなどの健康行動の不良さと関連し「リスク」ととらえられます。特にそれが不足している人には意思決定支援が重要です。患者や 家族の好み・意向、ニーズ、価値観を重視した意思決定を保証すること。そのためには事前の情報をとり、正しい情報提供が必要です。

すれ違い・誤解の背景 には患者と医療者の間の「溝」、すなわち、

医療者・専門家と患者・家族の視点は医学的世界 vs. 生活経験の世界

説明を行っても、情報（メッセージ）の伝達およびその解読の過程に溝があれば、説明した=“理解した”とは言えません。医師や看護師などの医療従事者は患者と接するにあたり、患者のヘルスリテラシーに合わせた伝わりやすいコミュニケーションをとることが大切です。その橋渡しになる存在が看護師です。医師の説明を聞き、正確に患者や家族に 伝えることを意識し意思決定支援を行っていきましょう。医療者の コミュニケーションという取り組みに向けて、「ヘルスリテラシー」評価 HLS-14 の研究も行われています。厚生労働省 eJIM | 医療者と患者のコミュニケーション

国・地域別のヘルスリテラシー平均点



「インフォームドコンセントと看護ケア」

がん化学療法看護認定看護師

廣川玲奈

がん薬物療法におけるインフォームドコンセント

○インフォームドコンセント（IC）は、一般的に「医療行為を受ける前に、医療者からわかりやすく十分な説明を受け、それに対して患者は疑問があれば解消し、内容について十分納得した上でその医療行為に同意すること」です。薬物療法では、治療開始前に病名告知と病状説明、治療の内容、目的、予想される副作用などの説明がされ、患者の理解と同意が得られ IC が成立します。

<看護ケア>

●観察のポイント

- IC を行う前に、IC が成立する要件が整っているか確認しましょう。
 - 1.患者の同意能力（高齢患者の場合、認知能力の低下などから意思決定を 1 人で行えない場合もあります。患者の全体像をアセスメントして家族などの調整を図り、IC の場を提供していきましょう）
 - 2.患者への十分な説明
 - 3.患者による説明の理解
 - 4.患者の自発的な同意



○IC を受ける患者の身体的、精神的な状況を確認。

○医師からの説明の場合は、必要に応じて同席し、患者の反応を観察。

○医療者からの説明後、患者の理解状況を把握。

●ケアのポイント

○看護師が同席することで、患者・家族は看護師の存在を「そばにいてくれる医療者」として認識してもらい、その後にわからないことや不安なことがあったときに「質問できる存在」安心感となります。これは、信頼関係を構築するために重要な関わりです。しかし、医師が説明した以上の内容を伝えないことが原則となります。患者・家族が双方納得した意思決定になるようにすることが看護師の役割です。

